

事業番号	07 05 04	事業改善シート (25年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	技術専門校運営事業				担当課	部局	産業労働部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	人材育成課		
	施策の総合的展開	1-1 信州をけん引するものづくり産業の振興等 4 人材の育成・確保			E-mail	jinzai@pref.nagano.lg.jp		
		1-6 職業能力の開発と安心できる雇用・就業環境づくり 1 職業能力開発の推進			実施期間	S13 ~		

1 事業の概要

目指す姿	新規学卒者、離転職者等を対象に、就業に必要な基礎的な技能・知識習得のための1~2年間の職業訓練(6月の短期課程を含む施設内訓練)を実施することにより、県産業界の基盤を担う技能者の育成と就業の促進を図る。				
現状	○少子化(若年層の労働力人口の減少)、高学歴化(大学全入時代)、若者のものづくり離れ等により、本県経済を支える製造業等において若年技能者が不足している。 ○このため、新規学卒者、離転職者等を対象に、企業ニーズ、受講ニーズに即した職業訓練を実施する必要がある。				
県が関与する理由	県でなければ実施不可(法令等義務)	【左記の説明、根拠法令等】 国庫補助を有効活用しながら実施することが効果的である 職業能力開発促進法第15条の6、第9次長野県職業能力開発計画、長野県ものづくり産業振興戦略プラン			
事業内容	① 成果目標(H25)				
	普通課程修了生の就職率85%程度を目標とする。 普通課程の定員充足率80%程度を目標とする。				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H25事業実績	H25 (当初) (決算)	H26 (当初)
	環境整備事業	直接	技術専門校に環境整備員を配置して、校内・外の環境整備を行う。(緊急雇用創出事業)	5,736 4,155	0
	入校・就職支援事業	直接	技術専門校に入校・就職支援員を配置して、技術専門校の認知度を高め入校生の確保を図るとともに、施設内訓練を行っている訓練生の就職の促進を図る。(緊急雇用創出事業)	5,996 4,067	0
	経常経費等	直接	・職員旅費 ・光熱水費等 ・郵便料等	54,060 50,223	54,114
	訓練用備品購入	直接	・プロジェクター等	219 582	0
	自動車重量税等	直接		183 149	155
	合計			66,194 59,176	54,269

事業コスト	区分(単位:千円)	23年度	24年度	25年度	26年度	成果目標の達成状況					
	前年度繰越					項目	H24末 (実績)	H25			H26 目標
	当初予算	77,107	55,827	66,194	54,269			目標	成果	達成状況	
	補正予算	-3,549	4,900			修了生の就職率	H25.3 85.7%	85%	H26.3 91.9%	達成	85%
	合計(A)	73,558	60,727	66,194	54,269	定員充足率	H25.4 84.5%	80%	H26.4 72.4%	未達成	85%
	国庫支出金	15,761	19,346	20,307	20,634						
	県債										
	その他(財産収入等)	15,060	6,535	15,072	3,340						
	一般財源	42,737	34,846	30,815	30,295						
	決算額(B)	58,764	58,790	59,176							
概算職員数(人)	67.00	65.00	64.00	64.00							
概算人件費	553,286	536,770	528,512	528,512							
概算事業費(B(A)+C)	612,050	595,560	587,688	582,781							

目標に対する成果の状況

- ・景気の回復基調により求人が増えたため、就職率が向上した。
- ・また、景気の回復基調により求職者が減ったため、技術専門校への入校者が減り、結果として定員充足率は低下した。

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	<ul style="list-style-type: none"> ・修了生の就職率については、引き続き就職指導との支援体制を維持していく。 ・定員充足率については、カリキュラムの見直しや施設や機器の整備を通じて、地域ニーズに応えた魅力的な校づくりを進めていく。